

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月

事業所名：仙台市サンホーム

在籍保護者数 33名 回収数33枚 回収率 100%

必修項目	○	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	わからない (%)	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28 (67%)	5 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具や遊具を置いても十分なスペースが確保されている。 ・活動に合わせて変化があり、とても良いと思う。 ・アーチルから来た時は狭く感じたが、今まで大きなクガなどせずに過ごせたので十分なのかなと、でも広に越したことはない。 ・施設としての工夫は感じられる。仙台市として建設時に問題あり、狭い。 ・保育室で息子が走り回り、お友だちにぶつかってしまうことがあったため、お部屋がもう少し広いと良い。 ・活動内容によっては狭く感じることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースの問題は構造上のこともあり、改善が困難であるため、クラス運営面であそびの組み立て方、片づけ方、パーテーションの使い方、開け方などで工夫、調整し、安全性と快適性を確保できるようにしたい。 ・今後も、活動の内容によって環境調整していきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30 (91%)	1 (3%)	0 (0%)	2 (6%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談させて頂いている時に、他の先生が子どもを見れる人数で安心。 ・少人数のクラスのため、いつも先生が近くにいて下さるし、たくさんアドバイスを頂いた。 ・困っていてもすぐにスタッフの方が対応してくれる。 ・配置数についてはよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数は国の基準で設定されている通りだが、その日の子どもたちの状況やあそびの内容によってはフリー職員も加配している。 ・保護者が離れるときにも体制を職員間で共有し、体制を整えるようにしている。 <p>今後も上記について柔軟に実施していきたい。</p>
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32 (97%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園してまもなく、登園してからの流れ（靴箱、手洗い場、トイレの場所など）は理解しているようだった。 ・子どもに合わせていろいろな工夫があり嬉しく思う。 ・段差も少なく、ある場合は声かけてもらい、気を付けられるようになっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの特性を踏まえ、過ごしやすく、わかりやすい、習慣化しやすい工夫を構造化の考え方を取り入れ実施している。 ・子どもの身体状況や姿勢をアセスメントして、作業療法士を中心に姿勢保持を可能にする椅子の工夫（滑り止めシートの使用、股の支柱の設置等）を個別に実施している。 ・今後も過ごしやすく、個別に応じた環境づくりを継続していきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32 (97%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃も行き届き、安心、安全に活動できる空間になっている。 ・とても清潔できれいです。 ・手洗い場やトイレなども清潔に保たれている。 ・まだ、一人ひとりが遊びやすいようにパーテーションを置くなど、工夫されていると思う。 ・床が滑りやすい気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、床や玩具の清掃・消毒を徹底して実施している。 ・床冷えについては、床の張替え済みである。 ・滑りやすさについては、一人ひとりの行動をしっかり観察し、危険がないように見守るとともに、今後もあそびの工夫を心がけていきたい。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画Ⅱが作成されているか	31 (94%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・息子の様子をビデオで撮影して頂いた保護者からの聞き取り、先生と一緒に接する中で気付いた息子の特徴などを元に作成して頂いた。 ・お話し合うことが書かれていてとても良い。一つひとつ詳しく書かれていてとてもわかりやすい。 ・言葉や集団での行動など子どもの変化が著しく、ニーズに合った支援が行われていると感じる。 ・入所したばかりのため、これからお話があると思うので、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの行動特性と支援内容について、できるだけ具体的に保護者の方と共有できるよう、支援計画を作成している。そのため、必要に応じてビデオ撮影し、客観的に分析できるようになっている。 ・今後も保護者の方のニーズをしっかりと聞き取りながら、計画を作成したい。
	⑥	児童発達支援計画には、「児童発達支援力向上計画」の「児童発達支援の提供（障害児）」「福祉連携（福祉連携）」「関係機関（関係機関）」の各項目が適切に記述されており、具体的な支援内容が設定されているか。	30 (91%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (6%)	1 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の息子の様子、特徴を踏まえた上で、「今後はこういうことを取り入れていこう、目指していこう」といった具体的な内容を提案して頂いた。 ・日常生活にも取り入れやすい計画を立てていて説明もわかりやすく、共有できている。 ・入所したばかりのため、これからお話があると思うので、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、取り入れやすい取り組みになるよう心がけながら、具体的な支援内容を設定している。 ・今後も、よりわかりやすく具体的な計画を作成していきたい。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	32 (97%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・息子があそびに入りやすいように配慮して頂いたり、「次はこうしてみよう」と前向きに考えてくれる。 ・そのままです。 ・安心できるように支援して頂いたり、左麻痺に対してなど個別性に対してもしっかり計画実行されている。 ・入所したばかりのため、これからお話があると思うので、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援はもちろんだが、日々変化する子どもの成長に合った支援をその都度考えるようにしている。 ・今後も丁寧なアセスメントとそれに合った支援を大切にしたい。
	⑧	活動プログラムⅢが固定化しないよう工夫されているか。	26 (79%)	4 (12%)	0 (0%)	2 (6%)	1 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚あそびや運動あそびなど、毎回ちがう機材を用いて飽きさせない工夫がある。 ・いろいろな活動ができて嬉しい。 ・毎回いろんなあそびで飽きず楽しめるし、息子がどんなあそびに興味があるのかもわかることができる。 ・外あそび＝自由あそびになっているが、設定あそびをする時があっても良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階におけるあそびのねらいに沿ってあそびを組み立てるほか、季節感や個別の興味関心、得意なことを取り入れながら活動のプログラムを考えるようにしている。 ・外あそびでは、自由からたな活動から発散したり、自分であそびを見つけられる経験にもなるため、室内で行っているような設定活動はあまり取り入れていなかったが、必要に応じて緩やかにあそびの提案をしていた。今後は個別性やクラスの状況に応じて、設定あそびも意識的に取り入れていきたい。

	9	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会がある。	11 (33%)	6 (18%)	3 (9%)	6 (18%)	7 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 ・入園したばかりなので、まだその機会がない。 ・入園したばかりなのでわからない。 ・こども園の施設を訪問しあそんだことはあった。 ・隣の保育園との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する保育園との交流保育を実施した。 ・今後もより連携しながら交流を深めていきたい。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31 (94%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもわかりやすかった。 ・わかりやすく説明してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項であり大切な内容なので時間を割いて説明をしているが、F4年度以降は虐待防止委員会の設置や身体拘束の適正化に伴うシートベルトや固定テーブルの使用、部屋の鍵の設置などについての書類を作成し、口頭での説明を行い同意を求めている。
	11	先週おこなったオンラインの「保護者支援」の提供が「子育て支援」の格好い内容の提供の中にも、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29 (89%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (9%)	1 (3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入所したばかりのため、これからお話があるとと思うので、わからない。 ・とてもわかりやすかった。 ・面談の際、計画を示され、しっかり説明して頂いた。 ・先生方より支援計画の内容を丁寧に説明して頂いた。また保護者側で内容に相違がないかの確認と他に心配事はないかと詳しく話を聞いてもらえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の個別性や家庭背景も配慮して、ていねいな説明を実施していきたい。 ・サンホームでは普段から個別支援プログラムと表記しているため、個別支援計画と同じものとして認識しやすかったのかもしれない。表記について修正を検討したい。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	19 (58%)	2 (6%)	1 (3%)	2 (6%)	9 (27%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園したばかりなのでわからない。 ・毎月様々なテーマで保護者勉強会がある。 ・いろいろお話を聞いて下さり、とても安心している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアプロの考え方をともに勉強会を開催しているが、悪いのほかに保護者自身の自己の振り返りに役立っていたことから、F5年度も保護者自身の内面に働きかける大切な機会として実施していきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通の理解ができていますか	31 (94%)	2 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性について教えてもらい、対応の工夫も一緒に考えてもらえるので家でも実行しやすい。 ・先生方はいつも親身に話を聞いて下さり、息子への対応についても「今度はこうしてみようか」と確認しながら一緒に考えてもらえる。 ・少しの変化でも伝えて下さり、見れなかった行動を知ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師を中心に各クラスで体温測定を含む健康チェックを実施していた。各クラスごと医療ケアが必要、あるいは緊急対応を要する児については、丁寧な観察と体調・情緒の聞き取りを実施していた。今後も継続していく予定である。 ・クラス担当とのコミュニケーションについては、個別職員で担当というよりチームで担当している。今後もクラス担任を中心に、その都度子どものことについて共通理解をしていきたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31 (94%)	2 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをいただいている。 ・折に触れて悩みを聞いて頂いたり助言など支援して頂いている。 ・面談で息子の現状や困りごとなど詳しい話を聞いて下さり、普段の療育の中でもアドバイスをいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任としてのチームでの関わりを中心に日々の声掛けや母子の心身の健康面や情緒面の観察と聞き取りを継続していきたい。サンホームならではの保護者支援の要であることを認識して関わっていききたい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19 (58%)	5 (15%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (27%)	<ul style="list-style-type: none"> ・入園したばかりなのでわからない。 ・保護者勉強会を通して保護者同士意見交換したり、毎回学ぶことが多くありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、保護者会としての組織運営はあえて休止していたが、30分間の保護者交流タイム（フレイクタイム）により、相互交流の機会は効果的だった。 ・保護者自身、交流が苦手という方もいるため、緩やかな関係性から繋がれるようスタッフの配慮も続けていきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事などは気軽に話やすく、前向きな提案をして下さる。 ・家で困った事を相談すると、きちんと答えてもらえるし、毎回は大変だから時間を決めてもいいなど親の自覚で答えてくれる。 ・何かあれば言うてくださるとの言葉がとても嬉しく相談しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育活動時間内では、限られたスタッフが一人の保護者の相談に固定すると子どもに目が行き届きにくくなるため、改めて相談の時間を設定し、できるだけ迅速に対応するように心がけている。 ・相談の内容によっては、公認心理師の心理相談を積極的に取り入れ、子どもの発達の課題や保護者の育ち、家庭環境面も含めてじっくり傾聴する機会を設定してきた。 ・今後も担任保育士はもちろん、必要に応じ、心理士、作業療法士、看護師、地域相談員などの専門職員にもつなぎながら、保護者からの相談に適切に対応していきたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32 (97%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば言うてくださるとの言葉がとても嬉しく相談しやすい。 ・先生方は言葉が遅い息子の気持ちを代弁して下さったり、ママがいない時の行動の様子なども教えて下さる。 ・話すときの場所や時間に配慮して聞いてもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今から行うことや次の予定、これから先の見通しのようなことについては、簡潔にわかりやすく伝えることを心がけている。 ・今後も、保護者へは紙に書いたり写真などを提示しながら説明をしたり、子どもへは写真や実物など視覚的にわかりやすい工夫を行うことで、意思疎通や情報伝達するようにしたい。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29 (88%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (12%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりで知れて良いです。 ・入園したばかりなのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより発行の他、行事ごとにもご案内を発行している。また、事業評価の集計結果については、毎年法人のホームページ内または当施設の壁面に最新のものを掲示している。 	
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	30 (91%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明受けた。 ・文集や写真を撮る際に、個人情報についてその都度説明されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から外部の方が来室する際は、個人的な名前が見えないように配慮している。今後も、個人情報の取扱には十分に気をつけていきたい。 	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31 (94%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明受けた。 ・避難訓練についてや震災の時の事などを聞いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練のマニュアルや不審者訓練のマニュアルは訓練実施後に職員で振り返りを実施し、その都度改善、更新を実施している。 ・法人として感染症対策委員会や災害対策委員会を設置されたため、そこで作ったマニュアルをもとに、改めて保護者へ周知、説明していくとともに、今後も必要な訓練を継続していきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32 (97%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明受けた。 ・定期的に訓練していると聞いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回避難訓練や年数回防災物品の点検、物品交換などを実施している。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25 (76%)	2 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (18%)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回朝登園する時、施設が見えると車の中で大喜びしている。 ・子どもとじっくり向き合える素晴らしい場所と感じています。 ・駐車場に着くと、「くつ」と言って笑顔になる。 ・毎回楽しみにしている様子で、園の中では笑顔でいることが多い。 ・子どもが楽しめるプログラムを考えて下さっているの、笑顔で通っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンホーム通園が決まった保護者は障害受容過程にあり、不安や戸惑いも強い。まずは親子ともども安心して楽しく通える環境づくりや関わりを重視している。中には「帰りたくない」と降園を渋って泣き出したりすることもある。楽しい場所、保護者にとって安心して過ごせる場所になれるようスタッフ一同取り組んでいる。 ・楽しいあそびは、母子の関係性を深める、周囲への関心を共有する、スタッフや友だちとの関わりをきっかけづくりになる、身体や言葉の発達を促す、「もっとやりたい」という主体性を引き出すなど、さまざまな成長の体験になっている。その大切さを勉強会や懇談・面談を通して一人一人の保護者にさらに浸透していくような支援をこれからも努力していきたい。
	23	サンホームの支援に満足しているか	26 (79%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (18%)	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。 ・息子の特性に合った配慮や現状での困りごとなど相談しながら一緒に考えたり、たくさんアドバイスも頂き、助かっている。 ・通ってまだ1ヶ月ですが、発達が促されていると実感できる。通ってよかったと思う。 	

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーテーションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

IV 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。